

京都画報

時空を超えた若冲ワールド
- 錦市場が生んだ天才絵師 -

7月19日（水）よる8時00分 放送



この度、日本BS放送株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 近藤 和行、以下「BS11」)は、7月19日（水）よる8時00分より「京都画報」を放送いたします。毎月1回、最新で上質な京都の情報を、美しい映像とともにお届けする番組です。

今回のテーマは、京都が生んだ天才絵師「伊藤若冲（いとうじゃくちゅう）」です。代表作の「動植綵絵（どうしょくさいえ）」は、2021年に国宝に指定されるなど、その評価はゆるぎないものとなっています。番組では常盤貴子さんが若冲到ゆかりある場所を訪ね、今でも人々に影響を与え続ける若冲の知られざる一面に触れます。

相国寺（しょうこくじ）で行われる「観音懺法（かんのんせんぼう）」という法要では、「動植綵絵」のレプリカが掛けられます。その理由と、相国寺と若冲との絆について伺います。また、日本有数の若冲コレクションを誇る細見美術館では、若冲の代表作のひとつ「糸瓜群虫図（へちまぐんちゅうず）」や、鶏の墨絵と初音ミクとのコラボレーション作品を鑑賞します。ぜひBS11の「京都画報」でお楽しみください。

【放送日時】 7月19日（水）よる8時00分～8時54分
(BS11では毎月第2水曜日 放送)

【出演】 常盤貴子
【BS11番組HP】 <https://www.bs11.jp/education/kyoto-gaho/>
【公式HP】 <https://s.mxtv.jp/kyotogaho/>
【番組公式Twitter】 [@KyotoGaho](https://twitter.com/KyotoGaho)



© KBS京都 / TOKYO MX / BS11

【見逃し配信】放送後、BS11公式動画配信サイト「BS11+（プラス）」で配信いたします。



京都を代表する禅宗寺院・相国寺。方丈には全30幅の「動植綵絵」の複製が。若冲と相国寺との深い関わりについて伺う。



細見美術館では、若冲の代表作のひとつ「糸瓜群虫図」を鑑賞。そのポイントを館長に解説していただく。



若冲は40歳まで、錦市場で青果問屋を営んでいた。そんな若冲到あやかって名がついた日本料理店「斗米庵（とべいあん）」で水や野菜にもこだわった京料理をいただく。



BS11は、質の高い情報を提供することで、人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します。

